

詳説世界史(世探704)準拠 世界史探究

流れ図で攻略 詳説世界史

高橋和久・甚目孝三・柴田博・谷澤伸

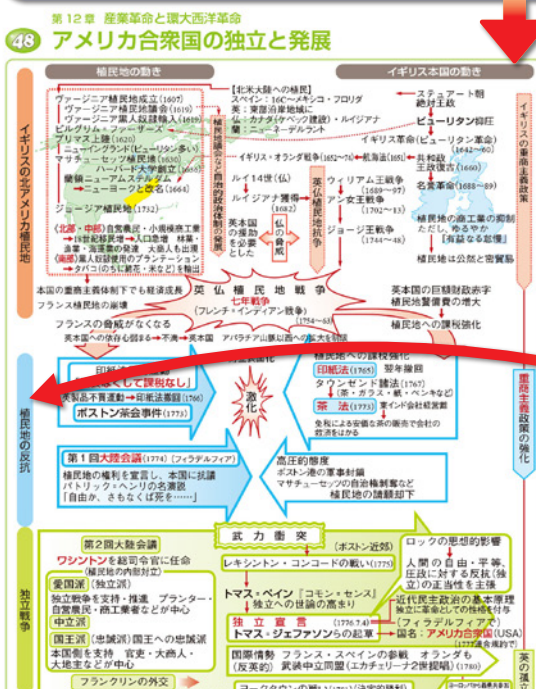


見開き1テーマで合計88テーマ。左ページの流れ図で歴史の流れを示し、右ページは穴埋め問題演習で基本事項を確認する参考書兼問題集。

左ページは **流れ図**
教科書の内容が構造的に見てわかる

右ページは **穴埋め式問題**
基本事項を演習問題で確認できる

世界史の大きな流れとヨコの関係を視覚的に容易につかむことができ、理解が深まります。



北米の東部沿岸に建設されたイギリス植民地は、1607年の●()植民地に始まり、1732年のジョージア植民地を最後に13の植民地が形成された。なかでもプリマス植民地は、1620年に信仰の自由を求めて渡来してきたピューリタンの一団(ピルグリム・ファーザーズ)によって建設された(1601年マサチューセッツ植民地に併合)。13の植民地はそれぞれの設立の事情・宗教・経済などは異なっていたが、植民地議会を設置し、自治制度を発達させ、自主・独立の精神に富んでいた。北部では自営業・商工業が、南部では●()を使用してタバコ・米・綿などを栽培する●()が盛んであった。

七年戦争(フレンチ・インディアン戦争)後、イギリス本国は戦費や植民地警備費の増大による財政難を軽減するため、植民地への●()政策を強化した。植民地はこの本国の態度を自治の侵害と感じ、1765年の●()に対して●()をスローガンに抗議して、税を撤回させた。1773年、本国は●()を制定して茶の独占販売権を●()に与えた。植民地側は反発し、●()をのぞきおこした。これに対して本国はボストン港閉鎖・自由貿易などの圧迫を加えたので、各種植民地の代表は1774年、フィラデルフィアで第1回●()を開き、●()を宣言して抗議した。

●()と●()の署名を●()から選びなさい。
 ① イギリス a ()
 ② フランス b ()
 ③ スペイン c ()

1775年、レキシントンとコンコードで武力衝突がおこった。植民地側はなだちに第2回●()を開き、●()を批判する機会として戦局優勢をとるのを、以後、戦争が進むにつれ、独立戦争を支持する愛国派(●())が優勢になった。

同じ色の帯で示している部分が左右のページで対応しているので、左右を対比して勉強するのにとてもわかりやすいです。

B5判 176+解答16頁 ISBN: 978-4-634-04114-1 C7022 定価1,650円(本体1,500円+税)

新刊ご注文締切: 1月28日(火)

※新刊記本に間に合いますよう、お早めのご注文をお願いいたします。

山川出版社 TEL: 03-3293-8131

※ご注文は、右記まで FAX: 03-3292-6469

注文数

冊

番線

(ご担当:) 様